

昌平 競り勝ち制す

全国
高校サッカー
県大会

森田決勝弾 浦和西破る

第96回全国高校サッカー選手権大会（県サッカー協会など主催、読売新聞社など後援）の決勝が19日、さいたま市緑区の埼玉スタジアム2002で行われ、昌平が浦和西に競り勝ち、3年ぶりの2回目の優勝を決めた。昌平は、12月30日に東京・駒沢陸上競技場で開幕する全国大会に出場する。

▽決勝
昌平 2（0-10）1 浦和西
高校総体に出場した強豪同士の対戦。多様な攻撃が武器の昌平は、前半テンポ良くボールを回してチャンスを作るが、浦和西の堅い守備の前に得点できず。互いに無得点で前半を終えた。

試合が動いたのは53分、



懸命にボールを追う昌平・佐相亮明選手（右）
（19日、埼玉スタジアムで）＝杉木雄斗撮影



喜びを爆発させる昌平の選手たち

MF原田虹輝選手（2年）のフリーキックをDF関根浩平選手（同）が頭で合わせて均衡を破った。その後、同点に追いつかれた直後の71分、FW森田翔選手（同）とFW佐相亮明選手（3年）がパスをつないで右サイドを突破。森田選手が左足で勝ち越しのシュートを決め、全国への切符をつかんだ。
4年ぶりの優勝を目指した浦和西は70分、FW高橋岬生選手（3年）がこぼれ球を右足で押し込み、一時

同点に追いついた。勝ち越された後も果敢な攻めを見

せるが、ネットを揺らすことはできなかった。
昌平・藤島崇之監督「選手が今までの経験を生かしたプレーをしてくれた。全国大会では一試合一試合を大切に戦いたい」
昌平・石井優輝主将「相手を崩すのに苦しんだが、ドリブルやロングパスを交ぜてうまく攻められた。日本一を目指す」
浦和西・市原雄心監督「私の力不足。1、2年生には決勝で戦った経験を今後に生かしてほしい」